

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 坪松康隆
 編集 広報事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話: 043-460-1781 FAX: 043-463-4169
 事務局員勤務: 火・水・金の13時~17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

2009年度(平成21年)活動の最重要課題

住民同士が支えあい・助け合う

サポートシステムを検討中!

～来年度スタートを目指して～

☆趣旨

高齢者や子育て中のお母さん方が、地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、地域ぐるみで支え合う仕組みを作るため、「要支援者サポートシステム検討委員会」(略称サポート検討委員会)を平成20年11月に設置しました。

具体的には買物のお手伝い、粗大ゴミ出しのお手伝い、お母さんが出かける間の子供さんの世話など、個人が個人を直接サポートするものですが、他地区の事例なども参考に精力的に検討を行っております。

☆事業イメージ

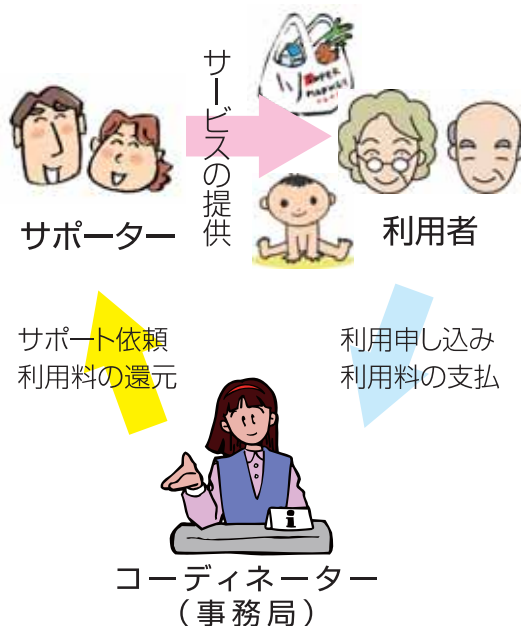
- 「利用者」「サポーター」は登録制
- 利用料は時間単位で精算
- 利用希望者は、事務局へ電話にて利用の2日前までに申し込み
- サポーターには利用料の還元あり

☆実施予定のサービス

買物・粗大ゴミだし・電球取替え・庭の草取り・話し相手・散歩の付き添い・家具の移動・子育て支援など。その他の要望についても検討していきます。

☆3者の連携による運営

このサポートシステムは「利用者」、「サポーター(サービス提供者)」と「コーディネーター(事務局)」の3者の緊密な連携と相互信頼に基づいた、支えあいが何よりも必要です。またサポーターは貴重な時間と労力を提供しますから、利用者には一定の利用料(一般より低料金)を負担していただきたいと考えております。



※ サービスのご利用はユーカリが丘地区社協エリア在住者に限ります

愛称名募集

締め切り2009年 8月31日

例) 虹のサービス、ねこの手などこの支援サービスの愛称名を募集いたします。採用された方には薄謝進呈。

【応募方法】

住所・氏名・電話番号 と サポートシステムの「愛称名」を明記して ハガキ・ファックス・メールのいずれかの方法で応募してください。

【応募先】〒285-0843 佐倉市中志津2-32-4 西部地域福祉センター内 ユーカリが丘地区社協
 FAX 043-463-4169 shakyo-yukari@catv296.ne.jp

2009年度(平成21年)ユーカリが丘地区社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

一人ひとりが住みなれた街で、安心して暮らし続けることができる地域社会の構築は、住民の最も身近な存在である地区社協の役割としてますます重要になってきた。したがって、活動の成果を二層確かなものにするため、自治会、福祉施設、学校、商店会、企業、ボランティア諸団体など、街ぐるみの取り組みとなるよう努力を継続する。

さらに、従来のイベントや各種活動は、それぞれの目的を達成するため積極的に展開し成果を上げてきたが、コミュニケーションの確立は地域における福祉活動の根幹を成すものであり、引き続き努力する。

一方、急速に進む高齢化社会はユーカリが丘地区においても一層現実のものとなっており、日常生活を支援する福祉サービスの充実が緊急の課題となってきた。しかし、介護保険法などによる行政の福祉サービスが、様々な異なる住民ニーズに全て対応するのは困難であり、その隙間を埋めることが出来るのは住民同士の支え合いである。そこに必要なのは支える側と支えられる側の顔が見えることであり、今日まで培ってきたコミュニティ活動が、信頼関係の醸成に大きく寄与するものと思われる。

また、住民のご意見を集約して策定されたともに歩むふくしプラン(第3次地域福祉活動計画)は、地区社協活動の指針となるものであり、平成22年度までの計画期間内において達成されるよう努力する。

ユーカリが丘地区社会福祉協議会を

取り巻く状況と課題

1. 少子高齢化、核家族化、生活様式と価値観の多様化
2. 日常生活における要支援者の増加
3. 自治会組織との連携強化の必要性
4. 団塊の世代など地域で活躍を期待できる人の増加
5. ともに歩むふくしプラン(第3次地域福祉活動計画)の推進

6. 福祉教育推進校への支援

7. 「佐倉市市民協働の推進に関する条例」の施行に伴う「地域まちづくり協議会」の創立

8. 志津北部地域包括支援センターの設置

(21・4・1)

【今年度の取り組み方針】

1. 高齢者対策・介護予防について

(1) 何時までも安心して住み続けることの出来る、健康で生き甲斐の持てる福祉の街づくりの推進

(2) 楽しさと喜びを感じられる、精神的にも満たされた地域コミュニティの確立

(3) 「志津北部地域包括支援センター」との連携強化

2. 子どもの健全育成

(1) 子どもが参加できる事業を通じ個性の尊重と、協調心の醸成

(2) ボランティア活動への参加促進

3. ボランティア活動の推進

(1) 各事業の円滑な推進のためボランティアの募集活動の実施

(2) 地域福祉の基本であるボランティアの育成強化

4. 組織体制について

(1) 各事業部、ブロック間の情報の共有化と連携強化

(2) ブロック活動の公平性と地域性との調和

5. 志津4地区社協の連帯

(1) 4地区社協との協働による成果の拡大

(2) 情報の共有化による地域連帯の確立

6. 福祉ニーズの把握

(1) 住民福祉懇談会の開催

(2) 民生委員・児童委員との連携による住民福祉ニーズの把握と対応

(3) 自治会及び地域の福祉団体との協働体制の確立

7. 「いきいきサロン」「100円喫茶」歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」などの拡大・充実

(1) 新たな実施場所の検討実施

(2) 開催日数・時間の充実

(3) 「いきいきサロン」運営方法の見直し

(4) 学童の居場所、子育て支援など検討し、可能なものから実施する

8. 「地域まちづくり協議会」創立への参加と協力

(1) 自治会協議会が中心となって推進する「地域まちづくり協議会」創立への協力

(2) 福祉は街ぐるみの取り組みが肝要であり体制整備に努力する

9. ともに歩むふくしプランの推進

(1) 計画は既に取り組んでいる活動の充実強化を図るものが多いが、実績を再評価しつつ必要な見直しを行い努力する

(2) 福祉プラン推進委員会によるプラン推進状況の評価・提言を受け実現に向け努力する

10. 広報活動の推進

(1) 広報誌の発行による社協活動の理解促進

(2) HPによる的確な情報の発信

(3) 地区社協の認知度を高める活動の推進

(1) 自治会などへ地区社協事業概要の説明実施

(2) ポスター、チラシの効果的な活用と掲示板の利用促進

11. 研修の効果的推進

(1) 福祉委員研修の実施

(2) 一般市民を対象とする福祉研修の実施

(3) 障がい者に対する理解促進のため、研修・交流の実施

12. 先駆的福祉事業の推進

(1) 移動サービスの普及促進

現行制度周知のための広報活動及び、運転ボランティア・利用者の募集



以上

- (2)「見守り制度」(仮称)の検討及び自治会との連携
- (1)災害時見守り制度については地区社協(案)を自治会協議会に提案したが、初期対応後の避難場所確保などフォロー体制につき関係機関と調整する。
- (2)引きこもりや孤独死防止など、独居高齢者世帯の日常生活の見守り制度を引き続き検討する
- (3)各自治会、民生委員・児童委員、その他関係団体との協調体制を確立し、支援体制のネットワーク化を図る
- 13.日常生活要支援者へのサポート体制の検討実施
- 行政サービスを補完する高齢者への生活支援体制の確立は、地区社協活動の中でも極めて重要な課題であり「要支援者サポートシステム検討委員会」による検討を促進し、年度内に結論を得るよう努力する。
- 14.井野中学校の福祉教育推進校指定に伴う協力
- (1)福祉教育連絡協議会などにより、具体的事業に係団体とも連携し協力する
- (2)各学校毎の個別案件については、年間計画を参考にその都度調整する
- (3)今年度で福祉教育推進校指定期間は終了するが、今後も各学校との連携活動を継続できるよう努力していく
- 15.財政基盤の確立
- (1)会員加入促進活動の展開
- (2)ふれあい福祉まつり・ユーカリまつり出店等収益を確保する事業の展開
- (3)「愛の箱」設置場所の見直し検討

2009 年度(平成 21 年)
主な活動予定

- 4 月 会計監査
- 5 月 第 1 回福祉委員会
- 3 校合同クリーン作戦
- 6 月 春の昼食会(3 ブロック)
- 7 月 広報紙発行
- 三世代交流会
- 住民福祉懇談会
- (2・3・4 ブロック)
- ユーカリまつり
- 友愛訪問
- 8 月 住民福祉懇談会
- (1 ブロック)
- 9 月 第2回福祉委員会
- 広報紙発行
- 敬老の集い(1 ブロック)
- 10 月 敬老の集い
- (2・3・4 ブロック)
- 赤い羽根共同募金
- 11 月 第3回福祉委員会
- ワンパクまつり
- ふれあい福祉まつり
- 12 月 広報紙発行
- 福祉施設訪問
- 歳末助け合い募金
- 2010 年
- 1 月 児童センター支援
- (成木餅づくり)
- 2 月 ふれあい昼食会
- 市民向け研修
- 3 月 第4回福祉委員会
- 広報紙発行
- 3 校合同クリーン作戦
- お話フェスティバル

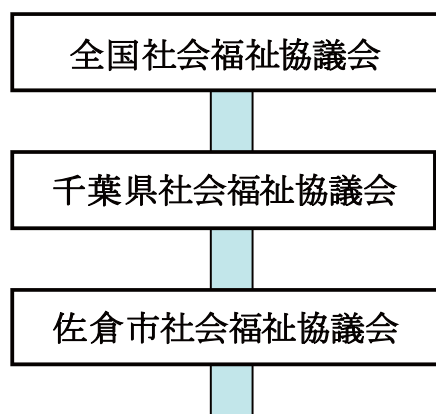
2008 年度決算書

(収 入)		(単位 円)		
項 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予 算 比 (B-A)	説 明
市 社 協 支 出 金	3,447,876	4,072,973	625,097	
会 費 還 元 金	1,727,876	1,734,946	7,070	住民加入会費還元金
事務局員設置費補助金	0	0	0	
敬 老 事 業 配 分 金	1,720,000	2,338,027	618,027	特別配分金含む
福祉教育推進助成金	100,000	100,000	0	19年度より3年間
事 業 収 入	1,200,000	1,082,353	-117,647	バザー、サロン、100円喫茶、歌声喫茶等
寄 付 金	100,000	479,820	379,820	寄付金、敬老の集いご祝儀
地 元 負 担 金	400,000	411,350	11,350	敬老の集い
特 別 基 金 より	0	299,900	299,900	物置購入設置費
雑 収 入	100,000	77,411	-22,589	ユーカリ祭り、愛の箱、利息等
繰 越 金	404,664	404,664	0	
合 計	5,752,540	6,928,471	1,175,931	
(支 出)				
項 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予 算 比 (B-A)	説 明
運 営 費	1,120,000	1,329,516	209,516	
会 議 費	150,000	134,278	-15,722	
事 務 費	200,000	194,806	-5,194	事務用品、借室料、借地利他
事務局員設置費	450,000	475,020	25,020	
交 通 費	50,000	440	-49,560	実費精算
備 品 費	250,000	220,072	-29,928	机、書庫、ラック、ポット、誘導棒他
備 品 費 (物 置)	0	299,900	299,900	物置(施工費含む)
慶 弔 費	20,000	5,000	-15,000	
事 業 費	4,610,000	4,780,331	170,331	
地 域 福 祉 費	700,000	584,102	-115,898	住懇、100円喫茶、歌声喫茶他
高 齢 者 福 祉 費	600,000	642,770	42,770	友愛訪問、いきいきサロン
障がい児者福祉費	40,000	20,263	-19,737	施設訪問、交流会他
児 童 福 祉 費	130,000	84,459	-45,541	世代間交流、お話フェスティバル
ボランティア関係費	120,000	64,748	-55,252	和の会、おやじの食事学他
広 報 事 業 費	550,000	582,798	32,798	広報紙、ホームページ
研 修 費	100,000	39,282	-60,718	4地区社協共催含む
敬 老 事 業 費	2,120,000	2,624,585	504,585	敬老の集い開催費
先駆的福祉活動事業費	150,000	37,091	-112,909	移動サービス、見守り制度の検討
福祉教育推進費	100,000	100,233	233	
予 備 費	22,540	0	-22,540	
特別基金積み立て	0	300,000	300,000	
次 年 度 繰 越 金	0	518,624	518,624	
合 計	5,752,540	6,928,471	1,175,931	

ユーカリが丘地区社会福祉協議会(地区社協)とは

社会福祉協議会(社協)は社会福祉法により規定されていますが、民間組織としての自主性を持つと同時に、広く住民や社会福祉関係者に支えられた、公共性と公益性の高い非営利団体であり、補助金・会費及び一部事業収益金で運営されています。

地区社協は、そこに住む全ての住民が安心して暮らしやすい福祉の街づくりをするために、住民が主体になって知恵と力を出し合って、地域ぐるみで推進する牽引役になることです。

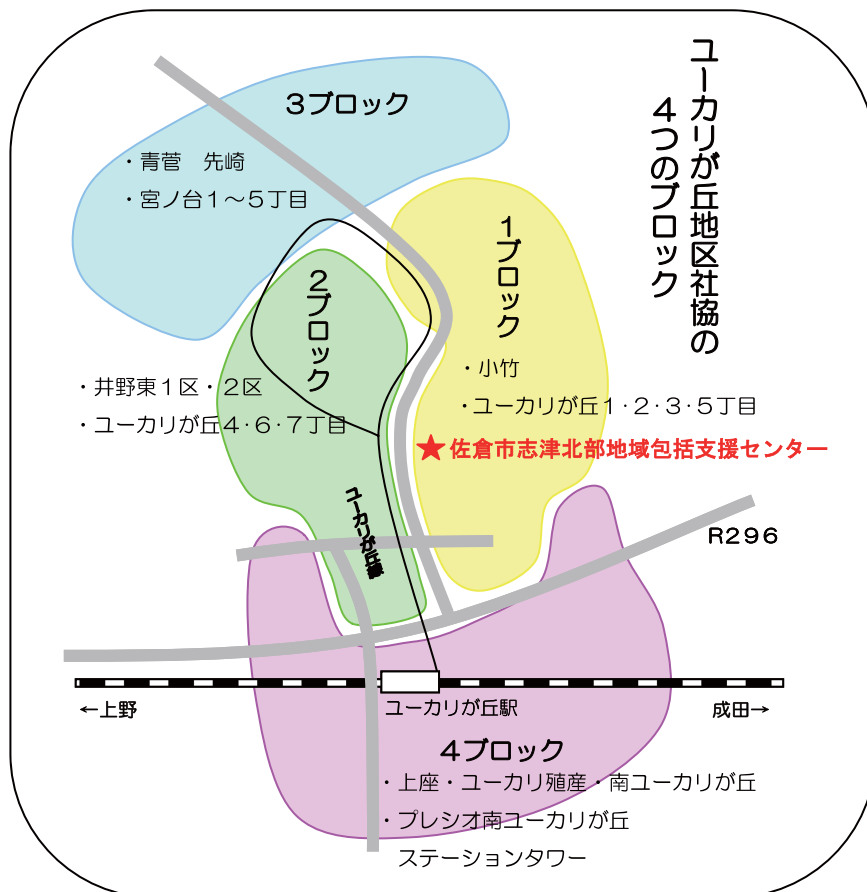


ユーカリが丘地区社会福祉協議会

※ 佐倉市には14の地区社協があります

●活動資金は

- ・会費 (1世帯500円/年 還元金として300円が地区社協に)
- ・共同募金配分金 敬老事業配分金 寄付金
- ・事業収入 (福祉バザー、いきいきサロン、100円喫茶、歌声喫茶カフェ・ユーカリ、夏まつり出店)



●福祉委員とは

地域の中で福祉課題について支援を必要とする人(高齢者、障がい者、子育てなど)及びその家族の皆さんに対して、必要に応じて地域の人々と協力しながら解決を図ろうとするボランティア

「敬老の集い」をはじめとする、各種事業、イベントなどを開催し、コミュニケーションを図る活動を展開しています。

○合計 159 名 (平成 21 年度)

民生委員, 児童委員 22 名

自治会役員など 26 名

小中学校長 5 名 PTA 会長 5 名

幼稚園, ボランティア団体など 14 名

個人ボランティア 87 名

6 事業部の説明

交流事業部 三世代交流会・お話フェスティバルなど	支援事業部 いきいきサロン・百円喫茶・歌声喫茶など	先駆的事业部 見守り制度・要支援者サポートシステム検討など	研修事業部 福祉委員研修・市民セミナーなど	ボランティア事業部 ボランティア育成・共同募金・福祉教育支援など	広報事業部 広報紙発行・ホームページ・広報活動など
------------------------------------	-------------------------------------	---	---------------------------------	--	-------------------------------------

福祉委員の紹介

【理事】

会 長 坪松 康隆
副 会 長 平野 協治

事務局長 中瀬 和子
事務局次長 久保 登容子

会 計 山本 美穂
第1ブロック長 保谷 貞男

第2ブロック長 川上 芳男
第3ブロック長 村上 茂夫

第4ブロック長 清見 啓子
交流事業部長 土谷 千穂

支援事業部長 田口 澄子
広報事業部長(代行) 中瀬 和子

研修事業部長(代行) 平野 協治
先駆の事業部長 横井 勇

ボランティア事業部長 内野 勇夫
監 事 岩井 透雄

顧問 友野 文夫
黒川 勝喜

事務局員 稲越 良枝

【勤務日】

・火・水・金 13時から17時
西部地域福祉センター
TEL 460-1178
FAX 463-4169

※事業部別に色分けしています。

第2ブロック

(井野東1・2区、ユーカリが丘4・6・7丁目)

【民生委員・児童委員】
村山 房子 高垣 早苗 藤枝美代子 久保登容子
【自治会・町会・地区代表】
村山 秀明 金子 浩佑 佐藤 俊之 石橋 悦子
【福祉協力者】
川上 芳夫 田口 澄子 坪松 康隆 山本 美穂
中瀬 和子 井口 芳美 井上けい子 木原 幸男
向後 理香 恵下 幸子 藤代 篤彦 折笠 壽一
奥平 英明 杉原 次夫 橋岡 協美 西 潤
長谷川敦夫 高野 尚武 小澤 延孔 清水 賢二
木村 秋子 手塚美智子 塚本 和子 小倉 正雄
山本 定 出石 昌三 久保登幸夫 大山 紀子
石毛 寛

第1ブロック

(小竹、ユーカリが丘1・2・3・5丁目)

【民生委員・児童委員】
秋山 辰彦 高田 欣一 徳高 陽子
笠原 立子 高木 直子 内藤 達子
【自治会・町会・地区代表】
山崎 浩 井上 敏 坂口 誠二
藤井 正明 小森 昭雄
【福祉協力者】
保谷 貞男 阿波寄 守 鈴木 則彦 高橋 豊
山崎 一夫 飯田 富雄 田崎 素子 桜井 直美
佐々木善則 内野 勇夫 北川 信人 鈴木 司朗
加藤美知子 清水 悦子 保谷 信子 土澤 政子
小網 幸雄 町澤 澄子 池村 隆博 池村レイ子
阿部真由美 高崎 照夫 阿部多加子 木原 亨
則武 廣行 宗 成子 新倉 友子 江頭 信之
島岡 正幸

第4ブロック

(上座、ユーカリ殖産、南ユーカリが丘、
プレシオ南ユーカリが丘、ステーションタワー)

【民生委員・児童委員】
中村 徳一 村松 利雄 中川 淳 下原口衣子
廣地 富夫 窪田えひろ 清見 啓子
【自治会・町会・地区代表】
藤井 一正 木内 健二 太田 秀興 長南 佳子
田島 茂 内山 和博 三橋 栄治 深山 正久
蒔田 稔 渡辺 幸夫 工藤 義民
【福祉協力者】
伊藤 三男 加藤 泰裕 花島 利男 岩井 透雄
菅原喜美恵 鈴木 勉 高橋 京子 三井あき恵
粕谷 紳三 猪狩 峰子 飯田 克代 岡内 純子
橋爪 静子 阿部 和夫 平野 協治 岡内 純子
菅根美佐子 大鳥 誠 高橋 恒雄 三橋 明子
花嶋 勝男 石崎 弘 稲垣 正彦 宮下 克彦

第3ブロック

(青菅、先崎、宮ノ台1～5丁目)

【民生委員・児童委員】
出山 恭市 設楽久美子 鯨井 裕嗣 齊藤 學
安川 清美
【自治会・町会・地区代表】
出山 静雄 遠藤 稔 横井 勇 矢部 隆平
平出 伸一
【福祉協力者】
村上 茂夫 玉置 淑恵 湯本 三男 中村 都
佐川 章 木下今朝人 山口 伸治 恵下 均
山本 和彦 稲阪 稔 関灘三津枝 友野 静子
設楽 清治 高柳 要 三門 増雄 田倉 玲子
土谷 千穂 末光 啓吾 辻本 良夫 辻本美代子
金田田鶴子 佐藤ふみ子 小林 右治 吉見 律子
平出恵美子 会田長一郎 前田 銀子 田中 勝美

会議の状況(右)

表彰式(下)



去る5月17日(日)に平成21年度第1回福祉委員会が西部地域福祉センターにて行われ、平成20年度の事業報告・決算報告および監査報告が承認されました。引き続き21年度活動計画案、予算案についても承認され今年度の活動方針が決定いたしました。また、福祉委員会の議事に先立ち、表彰式が行われ、ユーカリが丘地区社会福祉協議会表彰規定に基づいて4名の方々と、2団体に対し坪松会長より表彰状および感謝状が贈られました。表彰された方々にはこれまでの功績に深く感謝申し上げます。表彰されたの以下の方々です。

一、会長表彰

◎ 青野恵美子氏(故人)

「いきいきサロン」創設時から支援事業活動に尽力。平成20年に50歳代で逝去。

◎ 丸山久子氏

「宮ノ台いきいきサロン」の創設時から今までボランティアとして活動されて10年目。

◎ 兼田シズ子氏

「いきいきサロン」「1000円喫茶」にボランティアとして参加されて9年目。

◎ アクションクルー宮ノ台

(代表…末光啓吾氏)

平成15年12月創立。ユーカリが丘地区自主防犯組織の草分けとして長年努力。

一、感謝状贈呈

◎ 友野文夫氏

平成18年12月から3度にわたり計10万円のご寄付をいただく。

◎ いちご会(宮ノ台1～5丁目のゴルフ

愛好会、会長、中沢滋彌氏)

平成15年5月から10回にわたり計10万円のご寄付をいただく

第1回福祉委員会を開催

3校合同クリーン大作戦

去る5月20日(水)、夏を思わせるような暑い日差しの中、井野中、青菅小、小竹小3校合同のクリーン大作戦が行われました。

各校の活動内容は昨年と同様でしたが、清掃日と言うには少々暑すぎる晴天の下、3校の全校生徒とPTA127名、福祉委員20名が除草作業、ゴミ拾い、窓拭きに汗だくで取り組みました。

中には「お疲れ様です」と声をかけられる生徒もあり、その一言で暑さも疲れも吹き飛んだ気持ちになりました。

3月に行った地域清掃活動と今回の校内美化活動は、福祉教育推進事業の二環ですがどちらも地域と学校が連携して行う活動として定着してきました。

今後も、このクリーン大作戦を継続し、学校や自分の住む街を大切にする心が育つてくれたらいいと思います。



草取り隊の行列ができました(井野中)



暑い日でしたが、皆で草取り(井野中)



取った草の運搬です(青菅小)



皆で玄関の清掃(小竹小)

地域包括支援センターは 高齢者の総合相談窓口です

今年3月まで市役所だけにあった地域包括支援センターが、4月から市内5ヶ所に設置され『佐倉市志津北部地域包括支援センター』がユウカリが丘に開設されました。(場所は4ページの地図を参考にしてください)

地域包括支援センターでは実際にどのような活動をしているのか、センター長の原田孝治さんから話をうかがいました。

原田孝治センター長から

地域包括支援センターは主任ケアマネジャー(介護支援専門員)、保健師、社会福祉士が必ず配置されチームを組んで仕事をしています。

高齢者に関する悩みや相談を家族や本人から聞き、他の機関とも連携しながら高齢者の生活を総合的に支援出来るように調整しています。

虐待防止や早期発見、財産を守る権利擁護も行っています。

また、ケアマネジャーが抱えている困難な事例の相談を受けたり、高齢者が地域で安心して暮らしやすいように、地域の方とのネットワークづくりもしています。

『近所で気になる人がいるんだけど...』『100円喫茶に急に来なくなった人がいるんだけど...』など、少しでも気になる方がいらしたら気軽に相談してください。

『こんな事で相談していいのかしら?』と思つたら、まずは043(462)9531に電話してみてください。一人で抱え込まないのが介護には1番大切です。

佐倉市志津北部地域包括支援センター

電話: 043(462)9531

FAX: 043(462)9532

相談受付: 日曜・金曜の8時30分~18時

休み: 土曜日・祝日・年末年始

相談は無料で予約も不要



包括支援センターの外観



相談を受けている原田センター長

『ありがとう心を開く合い言葉』

▽更正保護女性会の皆さんが卒業する小学生へ贈り物△

更正保護女性会は、第二次世界大戦後、孤児救済の為に結成されました。この会の目標は青少年の非行防止・犯罪予防立ち直り支援で明るい社会を目指す事です。

そして、これからの社会を担う子供たちが犯罪や非行に巻き込まれず、染まることなく真つすぐに成長してほしいという願いを込めて粘土のお人形を作り、市内の全小学6年生(今年度は1566名)に、ります。



社協主催全志津少年野球大会

志津地区4社協主催の野球大会開会式は、6月27日(土)、朝から快晴に恵まれた下志津スポーツ広場で行われた。

志津地区9チームから女子選手も含む約120名が参加し、昨年優勝のユウカリベアーズから優勝旗、優勝カップの返還が行われて、優勝まで8試合の熱戦がスタートした。

今年は各チームの成績が良く、春から行われている関東学童大会に2チーム、千葉県北総大会に4チームが勝ち進んでいるため、試合の組み合わせ調整が難しく、決勝戦は7月末か8月上旬までずれ込

む見込みである。

過去には市立船橋高校から甲子園に出場した選手を輩出している全志津少年野球大会、ここ数年も2年続けて優勝することが難しい強豪が揃っている。暑さに負けない熱戦と女子選手の活躍が楽しみです。



6月27日の開会式の様子



第3ブロック 昼食会

地域の65歳以上の独居(昼間独居を含む。)の高齢者等をご招待しての昼食会は、今年は水郷佐原水生植物園と香取神宮を行き先として実施しました。

入梅間近の不安定な天候の下、曇り空ながらも雨にも降られず、他の観光客で賑わう水郷佐原水生植物園で満開のあやめを鑑賞しながら、お弁当に舌鼓を打ちました。

帰り道で寄った香取神宮では、緑溢れる参道を通って参拝される方や名物の草だんごを食される方、土産物を物色される方など

ボランティア活動に
参加しませんか？

あなたも「100円喫茶」や「いきいきサロン」のスタッフとしてボランティア活動に参加しませんか？無理なくできることから始めましょう！ステキな仲間があなたを待っています！年齢性別問いません。ユーカリが丘地区社協の活動にどうぞお気軽に参加してください。申し込みは事務局まで。

・100円喫茶 ・いきいきサロン ・「カフェ・ユーカリ」
・ユーカリまつり(7/25・26)
・ふれあい福祉まつり(11/21)
TEL 460-1781
FAX 463-4169
火・水・金 13:00～17:00



ど思い思いの時間を過ごされ
ました。
往復のバスの車中では笑い声
が絶えず、しかも90歳以上
の方が2名も参加されてお
り、高齢者の方々のパワーに
圧倒されていました。



「カフェ・ユーカリ」7月からの開催予定

開催場所	開催日時	7月	8月	9月	10月
志津コミュニティセンター	第3土 14:00～16:00	18	お休み	19	17

問い合わせ先 事務局043-460-1781

2009年の敬老の集い

今年も下記の日程で敬老の集いを開催いたします。

第1ブロック 9月26日(土) 小竹小学校
第2ブロック 10月10日(土) 志津コミュニティセンター
第3ブロック 10月24日(土) 青菅小学校
第4ブロック 10月17日(土) 志津小学校



歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の様子

「100円喫茶」7月からの開催予定

開催場所	開催日時	7月	8月	9月	10月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所 461-7923	第4火 13:30～15:30	28	25	15 (第3火)	27
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火 13:30～15:30	28	お休み	29 (第5火)	27
わいわい喫茶 ユーカリ殖産自治会館 461-2589	第4土 13:30～15:30	25	お休み	26	24
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第2日 13:30～15:30	12	お休み	13	11
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金 13:30～15:30	10	お休み	11	9
憩いの場ふれあい喫茶 上座集会所	第2水 10:00～15:00	8	お休み	9	14
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水 13:30～15:30	15	お休み	16	21

問い合わせ先 事務局043-460-1781

編集後記

7月も半ばを過ぎ、梅雨明けも間近。暑さはこれからが本番ですね。

今回の広報紙は、今年度第1号という事もあり、思った以上に編集に時間がかかってしまいました。「読んでいただく方々に少しでも分かりやすく」という思いで、広報部員がそれぞれの意見を活発に出し合い作り上げました。

是非すみずみまで目を通していただき、ご意見・感想をお寄せいただければ幸いと存じます。

(KN)